

入札説明書及び設計図書等に対する質問回答書

工事名：鋼床版等大規模修繕工事（2026-湾岸）		問合せ日：2026年3月4日
		回答日：2026年3月10日
記載箇所	質問	回答
1. 設計書 内訳書-4 特記仕様書4-3 マニュアル(2023.7)3.4.3-4	1. 補修タイプ①-3（Uリブ取替え工）の施工について 既設Uリブの切断撤去が発生しますが、既設鋼床版疲労対策マニュアル3.4.3-4（部材撤去・取付）に記載されています「既設部材の切断・撤去時には交通規制を行う」により、本線規制が必要と考えますが、無しで良いのでしょうか。	1. 施工方法の妥当性を確認したうえで、関係者協議の結果を踏まえ監督員が必要と認めたものについては設計変更します。
2. 設計書 内訳書-4 特記仕様書4-3 マニュアル(2023.7)3.4.3-4	2. 交通規制を必要とする場合について、 Uリブ取替え工は昼間規制や夜間規制の6時間程度の規制時間では作業（撤去～設置）を終える事はできませんので、昼夜連続の24時間や30時間の規制が必要と考えます。高速隊との協議の問題もあると存じますが、如何お考えでしょうか。	2. 施工方法の妥当性を確認したうえで、関係者協議の結果を踏まえて、監督員が必要と認めたものについては設計変更します。
3. 設計書 内訳書-4 特記仕様書4-3 マニュアル(2023.7)3.4.3-4	3. 24時間等の連続規制としない場合について、 Uリブ構造が無い状態で規制を開放するため、交通荷重に耐えうる仮受構造が必要と考えますが、如何お考えでしょうか。 なお、仮受構造については、Uリブ撤去時に仮受構造を設置し、スタッドボルト溶接時には一時撤去・復旧、新規Uリブ設置完了後に撤去する工程と考えています。	3. 施工方法の妥当性を確認したうえで、関係者協議の結果を踏まえて、監督員が必要と認めたものについては設計変更します。
4. 別記様式-1（注2）	4. 今回提出する標準案の見積は、前記質問の1～3を全て考慮しない下記の考えで良いでしょうか。 ・規制無し ・仮受構造無し（Uリブは次工程まで切断した状態で保持）	4. ご認識の通りで、お考え下さい。
5. 設計書 内訳書-6 設計図面 48/51-51/51 特記仕様書7-4	5. 足場の面積について、 Uリブ取替え工の施工箇所においては、スタッド溶接・仮受構造の設置撤去・新規Uリブ部材の取込、及びそれらの足場上で的人力運搬を考慮した場合に発注図の足場面積よりも広い作業スペースが必要と考えます。 見積もりは発注図の通りとしますが、実施工では実態を考慮した（労務費も含めて）仮設工として設計変更頂けると考えて良いでしょうか。 それとも、任意仮設なので変更無しまたは数量のみの変更となるのでしょうか。	5. 足場構造の妥当性を確認したうえで、監督員が必要と認めたものは設計変更します。
6. 設計書 内訳書-6 設計図面 48/51-51/51 別紙-1(足場施工条件)	6. 橋梁足場等設備工の見積もり条件について 別紙-1（足場施工条件）に記載のとおり、施設・用地及び駐車場から施工できるものとして、路下一般道や入出路の規制を一切考慮しない標準案としての見積もりで良いでしょうか。 （規制による施工時間制約がない、本線上や入出路での作業がない）	6. ご認識の通りで、お考え下さい。

<p>7. 別紙-1</p>	<p>7. 昇降設備箇所とスタッドボルトの施工についてスタッドボルト溶接のケーブル長さは100mを限界として計画します。 今回は上部工までの高さが約30mなので、水平方向のケーブル長さは70mまで、橋軸直角方向の距離も考慮すると橋軸方向の距離は55m程度までかと。 P15-P16間のP16側とP16-P17間については、P15の昇降設備からケーブルを脚上に上げた場合に55mの範囲を超えます。 今回の標準案見積もりは施工箇所から水平距離で55m以内にスタッドボルト溶接の電源設備が有る前提で良いでしょうか。 (全て路下に発電機等の設備を設置して施工する) また、実施工でケーブルを脚上に上げる仮設備(昇降足場等)が、P16やP17で必要となった場合は設計変更の対象と考えて良いでしょうか。</p>	<p>7. 電源設備の配置については貴社にてお考えください。なお、実施工において追加で仮設備が必要となった場合、監督員が必要と認めたものは設計変更します。</p>
<p>8. 設計書 内訳書-4</p>	<p>8. 鋼床版補修(タイプ0-3)で計上する鋼材撤去費について、 ①既設Uリブの切断はガス切断で良いでしょうか。 ②切断位置は熱影響を考慮して5cm程度鋼床版から離隔をとり、 残った部分はグラインダーで切削除去する考えで良いでしょうか。 ③撤去材の人力運搬による荷下ろしも含める考えで良いでしょうか。 鋼材撤去費は、この合計として考えれば良いでしょうか。</p>	<p>8. ご認識の通りで、お考え下さい。</p>
<p>9. 設計書 内訳書-6 別記様式-1(見積審査項目)</p>	<p>9. 高所作業車の仕様と足場施工の見積もりについて 24m・25.8m・27m・32.2mの4種類は、トラック架装リフト車(ブーム型)の標準デッキ(バケット)タイプで良いでしょうか。 その場合は、標準案として、通称:スカイマスター(積載重量200kg)を使用して橋梁足場設備を施工する歩掛りを考えて見積すれば良いのでしょうか。 また、実施工で使用機械が異なれば、実態による設計変更になると考えて良いでしょうか。</p>	<p>9. 高所作業車の仕様はトラック・標準デッキブーム(直・屈伸)タイプです。実施工で使用機械が異なる場合、監督員が必要と認めた場合については設計変更します。</p>
<p>10. 設計書 内訳書-4</p>	<p>10. 鋼床版補修の見積もりに関して、 部材の取込は揚重機を使用せずに、全てを昇降設備から脚上に揚げて、脚上から通路足場(または検査路)を人力運搬する考えで良いでしょうか。</p>	<p>10. ご認識の通りで、お考え下さい。</p>
	<p>以上</p>	<p>以上</p>